

レディ

株式会社レディ薬局・メディコ21



健康百話

～今回はみやぎクリニックの宮城先生にお話を伺いました。～

講師紹介

みやぎクリニック

院長(医学博士)

宮城 和富 先生

(みやぎ かずとみ)

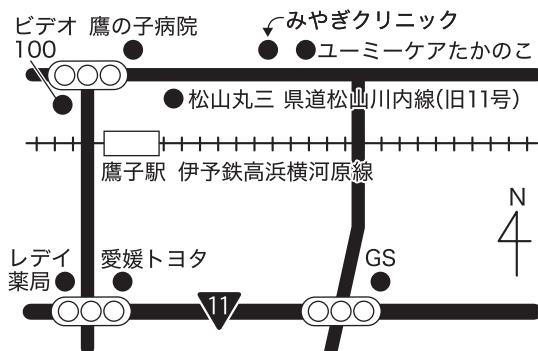


プロフィール

昭和63年3月 香川大学医学部卒業

昭和63年4月 愛媛大学医学部付属病院第一外科入局
平成11年

～22年9月 NTT西日本松山病院に勤務・外科部長
平成22年11月 みやぎクリニック開業



電話：089-993-8481

住所：松山市鷹子町442番地2

(伊予鉄道横河原線鷹ノ子駅徒歩5分、パルティ・フジ平井西側)

- 診療科目-----消化器・腹部外科、ペインクリニック外科
- その他-----乳腺エコー検査による乳がん検診
- 休診日-----水曜・土曜午後、日曜、祝日
- ホームページ---<http://www.clinic-miyagi.com>

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～12:30	○	○	○	○	○	○	休	休
14:30～18:30	○	○	休	○	○	休	休	休

※水曜・土曜は13:00まで

駐
駐車場あり
往
往診可
キ
キッズスペース有

いつも食欲がない、食べすぎでもないのにすぐにもたれる…

加齢と共に、そんな症状はありませんか？

それは胃粘液が減っていることが原因かもしれません。胃粘液は、胃酸、アルコール、脂っぽい食事の刺激から胃粘膜を守るバールで、年齢とともに減ってくることが知られています。セルベールの主成分デフレノンは、胃粘液の分泌を増やし、本来の胃の働きを取り戻して胃を元気にする成分です。胃の弱りを感じたとき、服用を続けていただくことで胃本来の働きを整えて、胃の元気と若さを保ってくれます



セルベール

健康
情報!

～ピロリ菌の話～

ピロリ菌と胃の病気

ピロリ菌は正式にはヘリコバクター・ピロリという細菌で、胃炎・胃潰瘍や胃癌といった胃の病気に関与しています。日本人のピロリ菌感染者はおよそ6000万人といわれています。ピロリ菌は特に50歳以上の人で感染している割合が高いとされています。主な感染時期は小児期であり、家族内感染が小児における感染の主要な部分を占めています。

ピロリ菌は一度持続感染が成立すると、除菌や胃粘膜の強度萎縮などの環境変化がないかぎり感染が持続します。感染診断は、内視鏡による生検組織を用いる方法(侵襲的検査法)と生検組織を必要としない方法(非侵襲的検査法)とがあります。ピロリ菌感染と診断されると除菌療法が行われます。

一次除菌として3剤が1週間投与されます。一次除菌が不成功であった場合は、別の薬に変えて、再び除菌療法(二次除菌)を行います。ピロリ菌に持続感染している胃では、長期間続く炎症によって胃粘膜が薄くなり、萎縮性胃炎となります。ピロリ菌による慢性胃炎を有する例は、胃癌の高リスクグループであり、これらに除菌治療を行うと胃癌のリスクが低下することが明らかになっています。また、胃潰瘍患者ではピロリ菌感染率が約90%と高く、

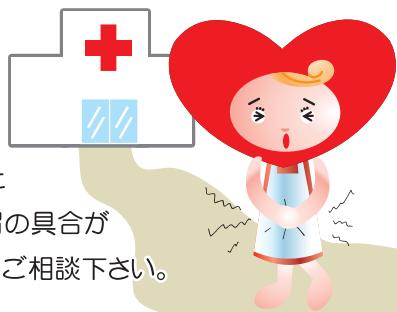
ピロリ菌陽性の胃潰瘍には積極的に除菌療法が試みられます。

最近注目されているのは、

胃癌検診におけるペプシノーゲン測定と

抗ピロリ抗体測定の組み合わせです。胃の具合が

悪い人やピロリ菌感染が気になる人は、ご相談下さい。



神秘のハーブ、マスティック。

マスティックはギリシャ原産のハーブの樹液を原料とした天然成分で、歯科分野、消化器系疾患の予防でも注目されています。歯周病菌に対する抗菌作用の他、ピロリ菌に対する殺菌作用や潰瘍の症状軽減で注目されています。



マスディント